

7月の定例街宣

6名が参加し原発ノー19筆、核兵器廃絶15筆、9条3筆でした。国連本部ロビーに核兵器廃絶の署名用紙を入れるツインタワーがつけられたことを話し署名が広がりました。



次回：8月6日(月)
12:30～東区民センター前
67年前、広島へ原爆が投下された日です。多くの方の参加をお願いします。

「原発反対・再稼働反対の市民運動」全国的に広がる！

大江・澤地・鎌田さんらが呼びかけ人となっている「さようなら原発」の運動で、6月に「さようなら原発1000万人署名」が750万筆集まり、野田首相と衆参両院議長に提出されました。署名は継続中で、現在780万筆を超えています。7月16日には東京・日比谷公園で、「さようなら原発10万人集会」が開催され、主催者発表で17万人の参加者がありました。

政府は8月末までに「エネルギー基本政策」を決める方針で、2030年に原発がエネルギーに占める比率について3つの案(0%、15%、20～25%)を提示していますが、この決定にどれだけ国民の声が反映されるかは疑問です。このような時に行われる全国規模の原発反対運動は、この政策決定に大きな影響力をもつものといえます。16日には札幌でも「原発反対・再稼働反対」の集会・デモ行進が行われました。

また、大飯原発再稼働に反対する首相官邸前抗議行動が毎週金曜日に行われ、6月29日以降の金曜日は毎回10万人以上の市民が参加しています。この抗議行動は各地へ広がり、札幌でも7月6日から毎週金曜日18:00から道庁前集会、道庁周辺のデモ行進が行われています。



7/6 道庁前集会



科学の平和利用への道は 集団の中で、相互批判が出来ること

―益川敏英講演会・会場超満員―

たかさき法律事務所9条の会など市内の4団体の共催で7月14日行われたノーベル物理学賞受賞者・益川敏英

氏の講演会には、第2、第3会場も一杯の800人が集いました。氏は、「科学と平和」と題し、20世紀は物理学が目覚ましい発展を遂げた時代であったとし、ノーベル賞1号のレントゲンの話、発明王と言われたエジソンの失敗の話をしました。しかし科学が発展すればするほど科学の成果が人々に遠くなる科学疎外が現れてきたこと、科学の成果が軍事利用されたことを憂い、科学の成果をどう使うかは人間側の問題と述べました。

休憩をはさんでの小森陽一氏(東大教授・九条の会事務局長)との対談の中

本の紹介

「比例定数削減が民意の反映か・・・明日のための今日の選択・・・」

著者の前自由法曹団団長坂本修弁護士は18年前、小選挙区制導入に反対して衆議院で参考人として意見陳述し、この数年間、比例定数削減の重大な危険性を訴え、全国講演を続けてきた。本書は9章120ページからなっており、小選挙区制が「密室談合」のどんでん返して成立した経過、その民意を歪曲し政治を「劣化」させる「正体」、民主党の「ぶれない公約」比例定数削減の正体――強度の毒性そして急浮上はなぜか、衆議院選挙制度に関する各党協議会など民意の届く抜本改革の流れ・動き、「ムダ論」・「身を削る論」を打ち破るなどから成る。資料も豊富で、随所に歴史的経過やエピソードも添えられており、理解し易くまとめられている。著者は「危険性」とともに、18年前とは政党状況や苦難を経験した民意の大きな変化を勝利の条件として上げ、「議会制民主主義を“再生”させる」チャンスをつかみ取る運動を発展させようと語りかけている。

新協出版社：350円
取り扱い：憲法会議、**購入希望者は当会事務局まで。**



対談する小森氏・左と益川氏

史に触れながら、科学の発展、軍事利用された歴史のために、広い分野で客観的に総合していく集団をつくらなくてはならず、その中で相互批判が出来ることが大切と「国境なき科学者団」のイメージを語り合いました。

お知らせ

原発労働の酷な末端作業員の過酷な労働実態を考える



日時 8月20日(月) 18:30
会場 エルプラザ4階大研修室
講師 渡邊逢生 弁護士

平和ロビー展
ちひろミニパネル・原爆パネル
絵手紙・ちぎり絵の展示と体験会
とき 8月2日(木) 3日(金)
10:30～16:00
ところ 東区民センター階ロビー
主催 新婦人札幌東支部

参加費 500円(高校生以下無料)
共催 北電藻岩発電所犠牲者の碑を維持・普及する会、札幌郷土を掘る会
TEL 898-1877

8/15 反戦街頭宣伝行動
日時 8月1日(水) 11:15～
ところ パルコ前

*戦時の召集令状(赤紙)を配ります。
8/15 走れ平和号(市電)
南1条4丁目 12時発車、すすきの 13時頃着
主催 さつぽろ平和行動実行委員会
TEL 241-0956